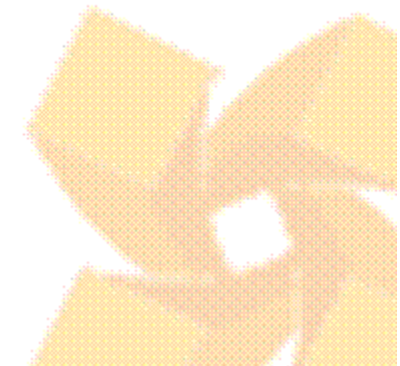




オープンソースカンファレンス2011@  
kyoto  
OSS「超」入門 by OBCI

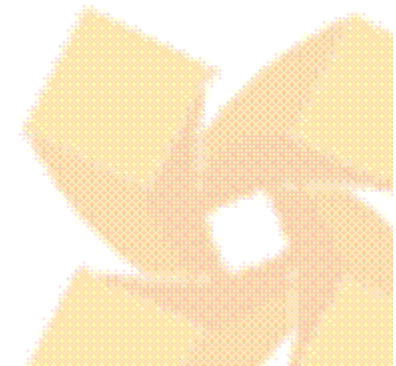
2011年7月16日  
OBCI事務局

- オープンソースの概要を理解する。
- オープンソースのメリットを理解する。
- 主要なオープンソースを知る。
- オープンソース利用時の注意点を理解する。
  - ▶ OBCI正会員企業：（株）野村総合研究所  
オープンソースソリューションセンター  
主任テクニカルエンジニア 兼 プリセールスエンジニア  
保田 和彦

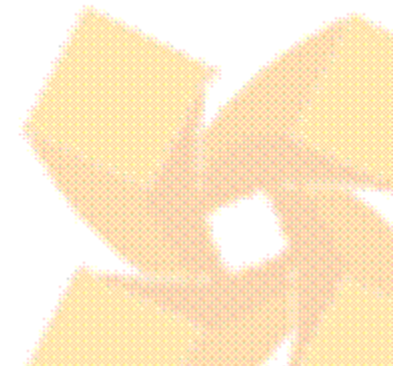


- 2001年野村総合研究所入社。以降、情報技術本部にて、主にWebシステム構築プロジェクトに従事、方式設計、基盤構築を行う。
- 2003年～ オープンソースソリューションセンター（OSSC）設立。メンバーとしてOSSを採用するプロジェクトを中心に活動。
- 2005年～ OSSを用いた大規模ECサイトの開発標準化リーダー、中規模証券会社向けリッチクライアント基盤リーダーとして参画。
- 2008年～ 基盤人材育成の部署に異動。基盤構築ハンズオン研修の企画、実施などに携わる
- そのころ
  - ▶ 2008年6月、オープンソースソリューションセンター長、寺田雄一がオープンソースビジネス推進協議会（OBCI）を企画、設立。事務局担当理事に就任
  - ▶ オープンスタンダード化支援コンソーシアム（OSAC）の理事就任
- 2010年～ OSSCに戻り、現在はプリセールスエンジニアとして、OpenStandiaの営業支援、提案活動を中心に活動中。

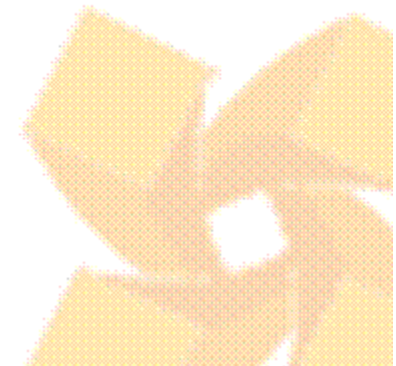
## ●OSS「超」入門



## ● オープンソースとは？



- 「オープンソース・ソフトウェア」の略
  - ▶ 「オープンソース・ハードウェア」というものもある。
  - ▶ 一般的に「オープンソース」といえば、「オープンソース・ソフトウェア」を指す。



## ● オープンソースの定義

- (1) オープンソース・ライセンスには、再頒布に関する制限が設けられていてはならない
- (2) プログラムにはソース・コードが添付されていること。また、ソース・コードでの頒布も許可されていること
- (3) オープンソース・ライセンスでは、ソフトウェアの改変、派生ソフトウェアの作成、また派生元ソフトウェアと同じライセンスの下での再頒布を許可すること
- (4) ソース・コードと一緒に、バイナリ構築の際にプログラムを改変するための「パッチ・ファイル」を頒布することを認める場合に限り、オープンソース・ライセンスによって、改変されたソース・コードの頒布を制限することができる
- (5) オープンソース・ライセンスは、特定の個人やグループを差別してはならない
- (6) オープンソース・ライセンスは、特定分野でのプログラムの利用を制限してはならない
- (7) オープンソース・ライセンスによってプログラムに付与された権利は、そのプログラムが再頒布された者すべてに等しく認められなければならない、何らかの追加的ライセンスに同意することを必要としてはない
- (8) オープンソース・ライセンスは、特定製品でのみ有効なものであってはならない
- (9) オープンソース・ライセンスは、そのライセンスが適用されたソフトウェアとともに頒布される他のソフトウェアに制限を課してはならない
- (10) オープンソース・ライセンスは、技術的に中立でなければならない

※<http://www.itarchitect.jp/beginners/-/11250.html> より抜粋

## 簡単に言うと・・・

- ソースコードが、インターネット等で公開されているソフトウェア。
- 基本的には無償で利用できる。
- 近年、その機能や性能、品質が商用製品と比較しても遜色ないレベルになってきたことから、普及が促進している。

## ■ オープンソースの特徴

- ・再配布の自由（無償である）
- ・ソースコードの公開（誰でも見れる）
- ・改変の自由（誰でも改変できる）
- ・“コミュニティ”と呼ばれるボランティアにより開発されている。
- ・非常に多くの利用者の手によってテスト&改善がされ、機能と品質が向上する。
- ・基本的に、サポートが無い。自己責任により使用する。

カテゴリ	商用製品	オープンソース
OS	Windows (Microsoft) HP-UX (HP)	RedHat Enterprise Linux CentOS
Webアプリケーションサーバ	WebLogic (Oracle) WebSphere (IBM)	Tomcat JBoss
データベース	Oracle (Oracle) SQL Server (Microsoft)	MySQL PostgreSQL
シングルサインオン	HP IceWall (HP) Tivoli Access Manager (IBM)	OpenSSO
企業情報ポータル	SharePoint (Microsoft) INSUITE (ドリーム・アーツ)	Liferay
情報分析	BusinessObjects (SAP) Hyperion (IBM)	Pentaho JasperSoft BI Suite

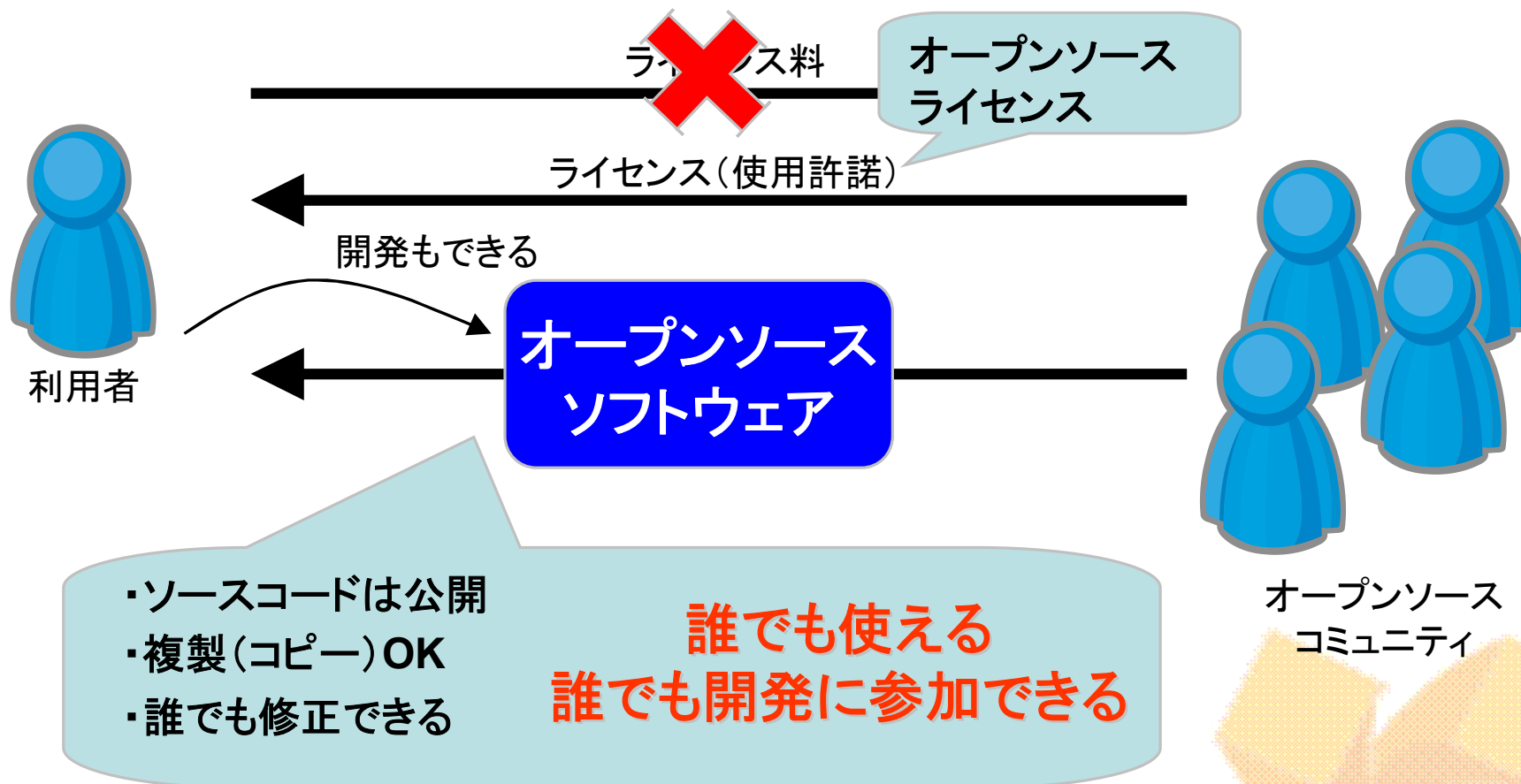


## ● 商用ソフトウェアの場合



- ・ソースコードは極秘  
→ 真似されてしまうので
- ・複製(コピー)禁止  
→ タダで使われてしまうので
- ・ソフトウェアベンダーだけが修正できる

## ● オープンソース・ソフトウェアの場合



- 「オープンソース・コミュニティ」
  - ▶ 一般的な「コミュニティ」は、「共同体、集団、地域社会」
- 特定のオープンソース・ソフトウェアの開発や普及活動を行うことを目的とした、人々の集まり
  
- 開発コミュニティ
  - ▶ オープンソースを開発するコミュニティ
  - ▶ 企業がコミュニティを主導する場合もある
  - ▶ (例) MySQL (サン)、JBoss (RedHat)
  
- ユーザーコミュニティ
  - ▶ オープンソースを利用するにあたり、情報交換を行ったり、日本語ドキュメントの作成を行ったりするコミュニティ

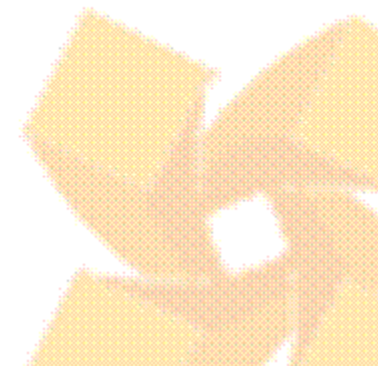
- 「オープンソース・ライセンス」
  - ▶ 一般的な「ライセンス」は、「使用する権利、利用許諾」
- オープンソースの利用許諾であり、使用するにあたって守るべき条項が書かれている。
- 主要オープンソース・ライセンス

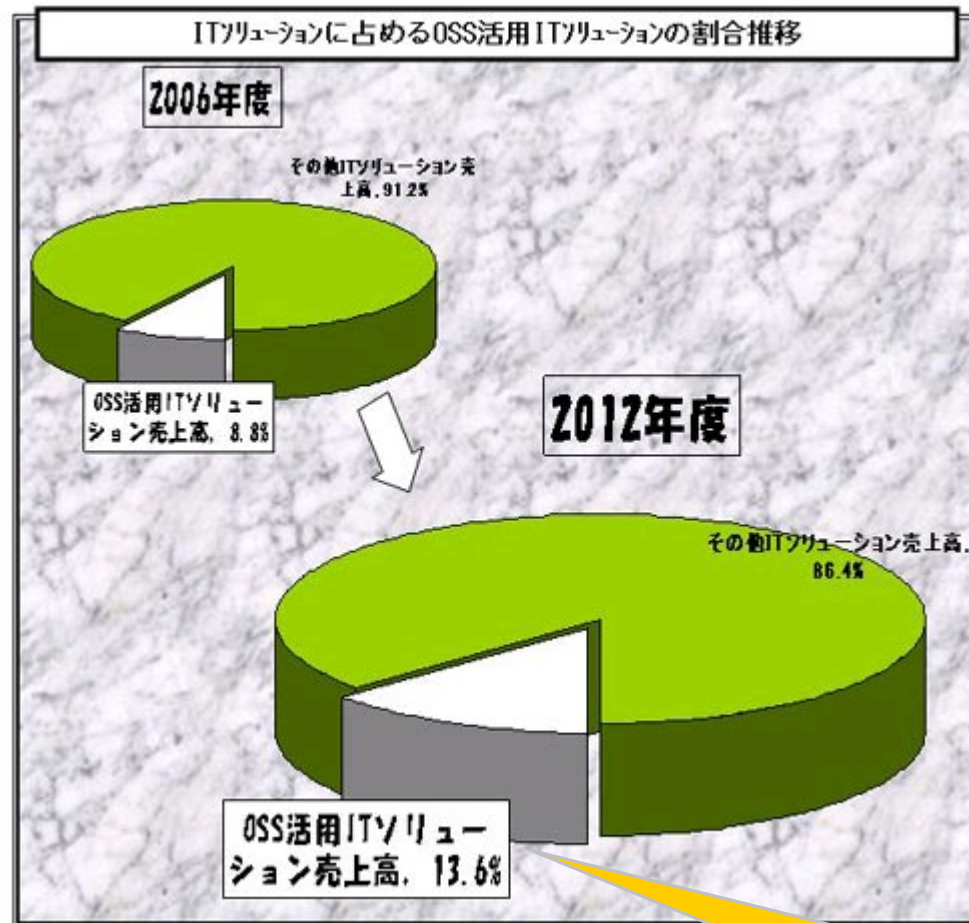
	ソース公開	再配布	改変	伝播	保証	代表的OSS
GPL	要※	OK	OK	する	なし	Linux
LGPL	要※	OK	OK	する※	なし	JBoss
BSD	不要	OK	OK	しない	なし	PostgreSQL
Apache Software License (ASL)	不要	OK	OK	しない	なし	Apache

※ソースコードの公開は、配布をした際に義務が生じる。  
 ※LGPLのソフトウェアを動的に呼ぶ場合には派生しない。

(注意が必要なケース)

- オープンソースを使ったソフトウェアを、他に配布する場合。(ex: 製品として販売する)
  
- 自社システムで利用する場合は、それほどセンシティブになる必要はない。

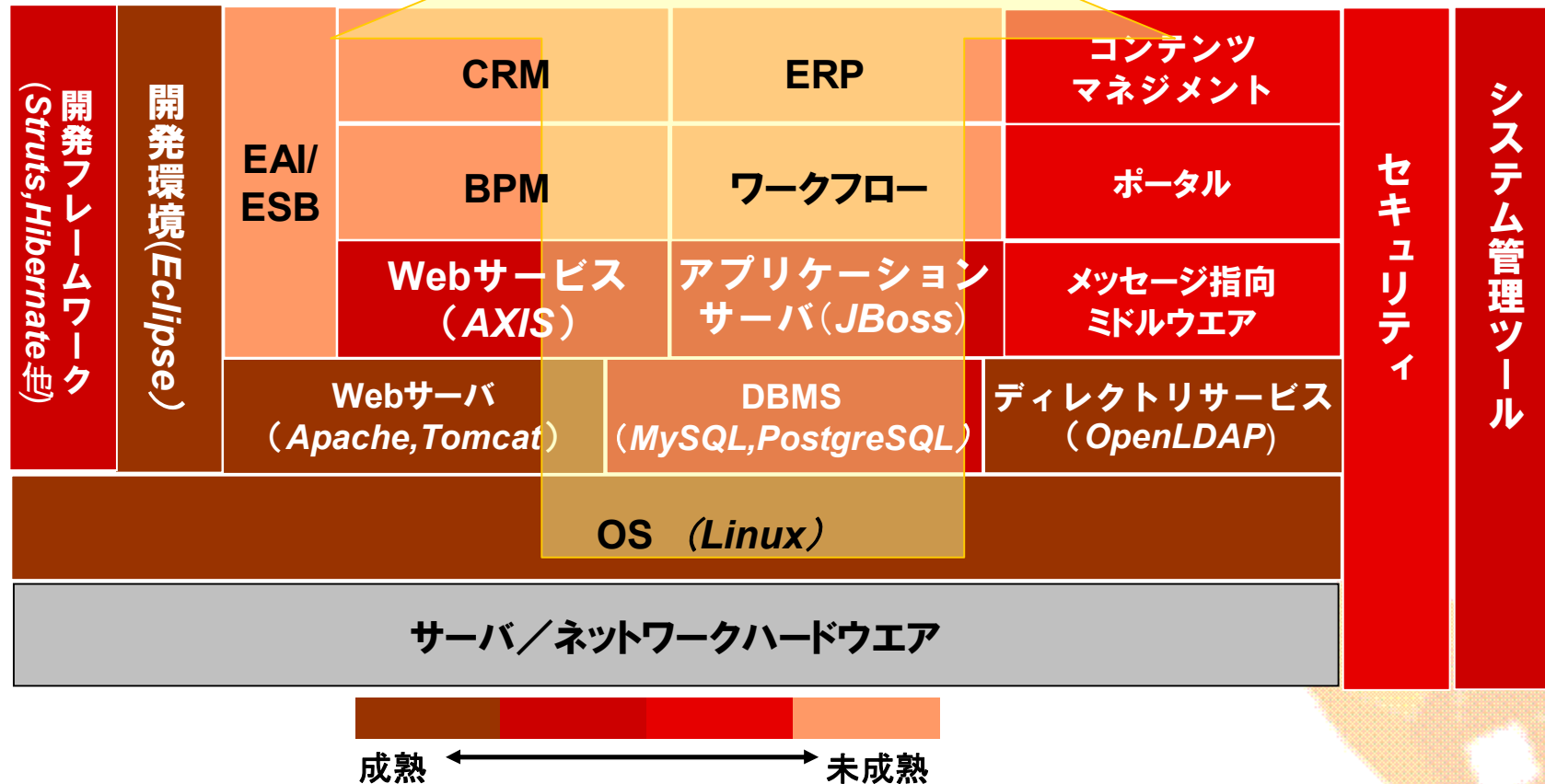




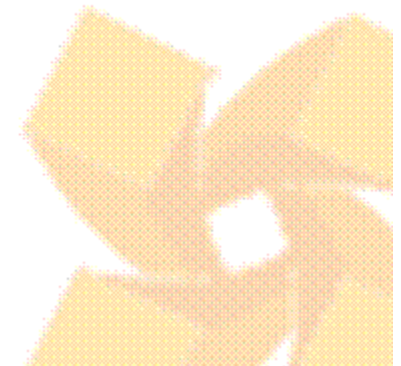
- 2007年度のOSS活用ITソリューション市場規模は1兆円を超えた。
- 今後も年9%の成長を続ける。
- 基幹系システムが市場の成長をリードする。

1兆6170億円

- OS (Linux)、Webサーバ (Apache)、開発環境 (Eclipse) はほぼ成熟。
- APサーバ (JBoss)、DBMS (MySQL他) も商用製品のシェアを次第に奪いつつある。
- 業務アプリではSugarCRM (CRM)、osCommerce (EC) などがよく使われている。



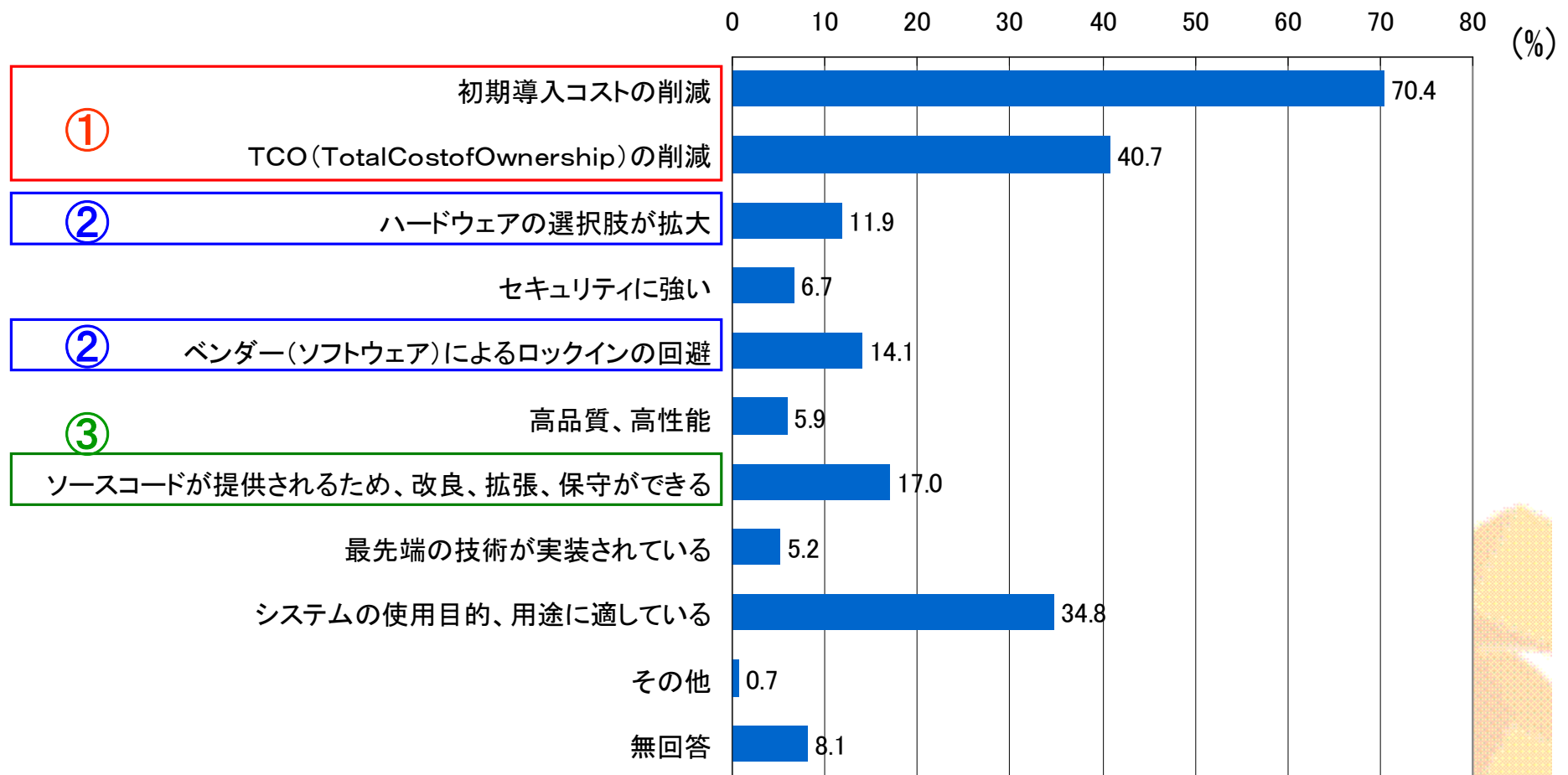
●なぜ、オープンソース？



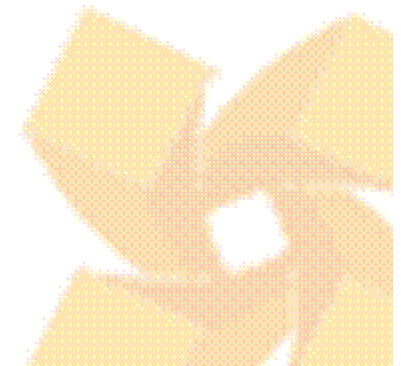


ユーザ企業によるIT利用動向調査(2007年 野村総合研究所)

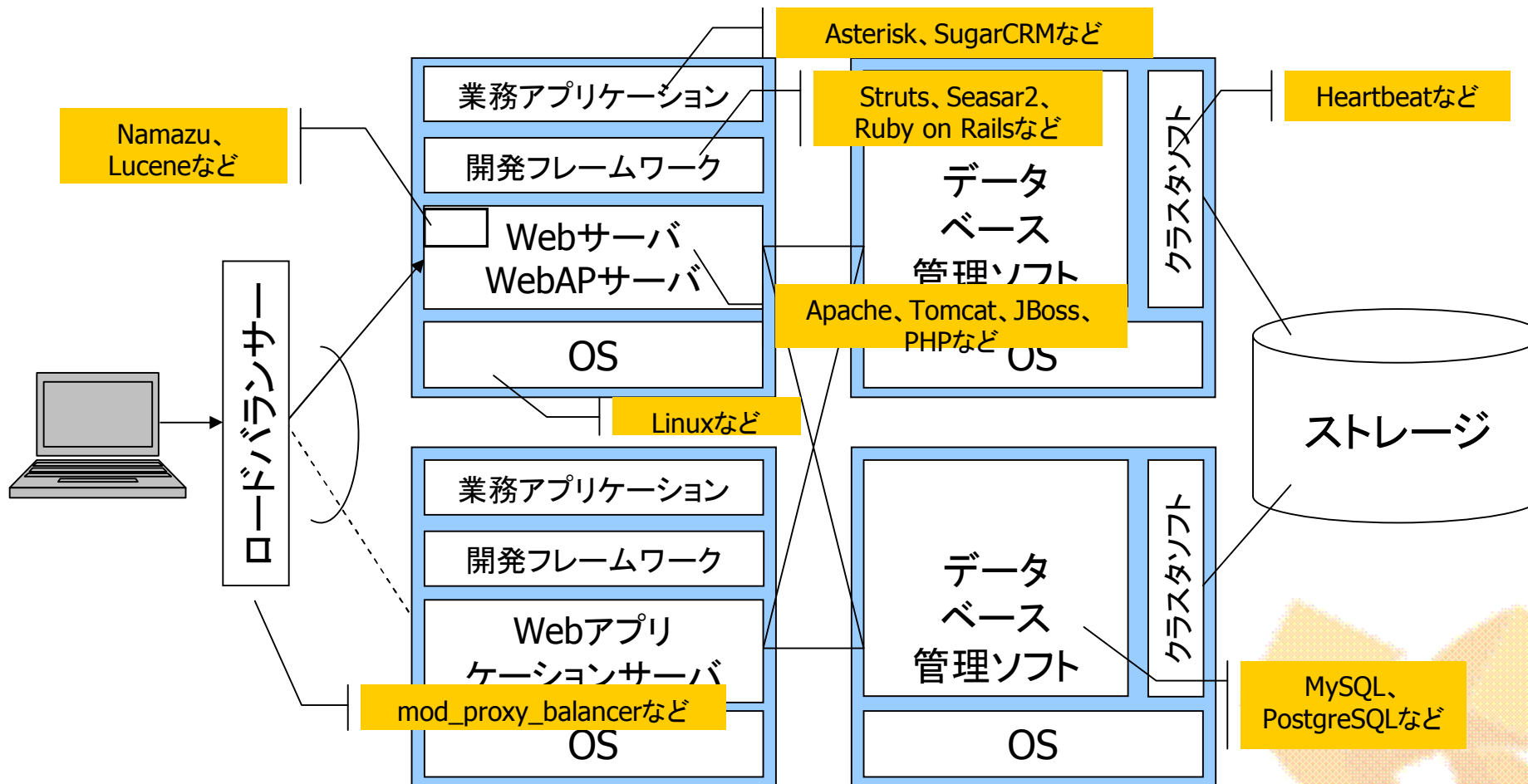
## ●「初期導入コストの削減」「TCOの削減」など、コスト削減が主目的 (n=303)



● どんなオープンソースがあるの？

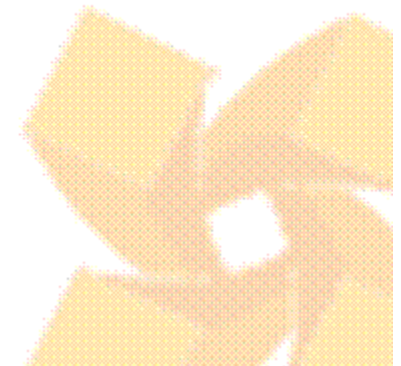


ほとんどの領域で、オープンソースが利用可能。



✓ Oracleなど商用データベースや、商用クラスターソフトとの組み合わせも、もちろん可能。

## ● オープンソースは大丈夫？



### オープンソースの3つ（+1）の誤解

#### ● オープンソースは品質が悪い？

- ▶ 誤解です。
- ▶ むしろ、商用製品よりも品質が高いケースもあります。
- ▶ 大規模システムへの導入実績も豊富です。

#### ● オープンソースは実は高い？

- ▶ 誤解です。
- ▶ 利用ノウハウがない場合は、有償サポートサービスを活用することで、リスクを低減しつつ、確実にソフトウェアコストを削減できます。

#### ● オープンソースを扱えるエンジニアがいない？

- ▶ 誤解です。
- ▶ 商用製品を扱えるエンジニアであれば、オープンソースも簡単に扱えます。
- ▶ ソースコードレベルのサポートは、有償サポートサービスのご利用をお勧めします。

#### ● オープンソースは自己責任？

- ▶ 様々な有償サポートサービスがあります。有効に活用しましょう！

## ▼ 正会員企業 (50音順)

8社

タイムインターメディア社、退会予定



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



株式会社 電通国際情報サービス



株式会社 インターネットイニシアティブ



日本アイ・ビー・エム株式会社



SRA OSS, Inc 日本支社



株式会社 野村総合研究所



NTTコムテクノロジー株式会社



株式会社日立ソリューションズ

## ▼ 一般法人会員

37社

2社追加、1社退会(東京アプリケーションシステム)

株式会社SBI証券、住友電気工業株式会社、第一生命保険株式会社、日本電信電話株式会社 NTTオープンソース ソフトウェアセンタ、三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社、株式会社アイエイエフコンサルティング、株式会社アイティーブレン、株式会社I2C、株式会社アクティス、株式会社アーティスティックス、株式会社アールワークス、ウチダスペクトラム株式会社、株式会社オークニー、株式会社オルト、株式会社ガイア、株式会社クライム、有限会社クラフト、クリエイションライン株式会社、株式会社KSKソリューションズ、コアネットインタナショナル株式会社、株式会社コムカル、株式会社ザクロ、株式会社GIM、株式会社ゼンク、タヌキソフトウェア有限会社、TIS株式会社、テンプスタッフ・テクノロジー株式会社、株式会社トゥルーワン、バブ日立ビジネス株式会社、日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社、ヒーローメタジャパン株式会社、株式会社ビッグツリーキャピタル、株式会社ブレインチャイルド、株式会社フーズネット ワーク、ライトイヤーズ株式会社、株式会社RYUS、ワークブレインジャパン株式会社

【ご賛同いただいているオープンソースコミュニティ】

日本JBossユーザ・グループ、日本MySQLユーザ会、日本PostgreSQLユーザ会、日本JasperServerユーザ会

# ■ 一般会員加入状況とプロモーション

## ▼ 一般会員

※2010年12月現在

2,069名

1

OBCIのWEBサイト(<http://www.obci.jp/>)を2008年7月26日に公開し、以下の会員獲得活動を実施しております。



The screenshot shows the OBCI website homepage. At the top left is the OBCI logo and name. A navigation menu includes 'HOME', 'OBCIについて', '会員限定情報', 'イベント情報', 'OBCI運営情報', '入会案内', and 'OBCI正会員専用ページ'. A dropdown menu is open showing 'ようこそ, OBCI システム管理者さん!'. The main content area features a large orange banner with the text 'オープンソースビジネス推進協議会' and 'Opensource Business Creation Initiative'. Below the banner, there is a news section dated '2010年12月15日(水)' with a headline '【プログラム詳細更新しました!】 update!' and a sub-headline '■【OBCI主催:会員限定】OBCI X'masセミナー 企業で使えるOSS事例ココだけの話!!開催決定!'. The text below the headline describes the seminar and provides information for general members.

## Main Contents

- OBCIについて
- 会員限定コンテンツ (事例・プレミアムセミナー情報)
- イベント情報
- 入会案内
- 正会員専用コンテンツ



- お問い合わせは、事務局まで  
Mail : [obci@nri.co.jp](mailto:obci@nri.co.jp)  
Web: <http://www.obci.jp/>